

フロンティア経営

NKKE

複雑に見える生産ラインの一連の動作もその一つ一つは「つかむ」「送る」「回す」など単純な動作の組み合わせで成り立っている。

この基本的な動作の機器を組み合わせて作業単位を標準化し、いつでも自由に組み替えられる生産ラインを構築する。

これがNKKEの「BBS(ブロック・ビルディング・システム)によるFAS(フレキシブル・アセンブリング・システム)」の考え方だ。

NKKEは、このBBSをもとにモノづくり企業向けに全体最適モノづくりシステム[®]の構築を提案している。

中村道一社長は旺盛な商品開発力、営業力に磨きをかけ、「国内製造業の生き残り策に貢献したい」と意欲を示す。

現在、BBSを構成するキ

ー・ブロックとして、部品をつかむエアチャックをはじめとする「パーツハンドリング機器」、コンベヤーを中心とした「搬送機器」、現場のニーズに合った配線システムを効率的に構成する「省配線機器」の3つの分野を主力とし、それに加えて工場現場の情報基盤を支援する「ネットワーク機器」、人と機械の協働(自動化)を実現する「セル構成機器」の計5ブロックを開発、展開している。



「稼働するショールーム」として顧客に最適なモノづくりを提案するNKKE伏見工場 一京都市伏見区

ライン最適化 製造業に貢献

創業は1968年。中村社長の実父で、現会長の中村圭二氏がスタートさせた自動機

の設計製作がはじまり。自動機はパーツをつかむエ

アチャックや、押す・送るなどの動作をするスライドシリンダーなどさまざまな部品で構成される。創業当初はこれらの部品をその都度、設計者

が設計、製作していた。しかし、これでは効率が悪すぎると、創業者が考案したのがこれら部品の標準化。74年に開発した丸型レバータイ

プのエアチャック、80年の小型平行タイプのエアチャックはその先駆けで、以後、必要とされる機能を相次いで開発し、現在の5ブロックの商品群となった。

■会社概要

- ▷ 本社 京都府長岡京市馬場町所27
- ☎ 075・955・0071
- ▷ 資本金 2億9700万円
- ▷ 社長 中村道一氏
- ▷ 事業内容 全体最適モノづくりの提案 および支援機器の開発、製造、販売

2005年6月に創業者の後を引き継いだ中村社長はこれら商品群の市場を「コンポネット、エンジニアリング、サービスメンテナン

ス」の3つの柱に絞り、世界企業を目指している。そして、これをやりぬく原動力としてあげているのが「人中心の経営」。「能力格付け制度」と呼ぶ賃金制度はその表れの一つ。結果さえ良ければよしとする成果主義と異なり、エンジニア、営業マン、女性社員のそれぞれの能力を高めるための制度だ。

中村社長は、この制度がもたらす社員の「やる気」を源泉に商品開発力、営業力を高め、「株式公開も視野に入れている」と意気込む。